

人権集会

12月2日 火曜日。前豊川市教育長 高本 訓久先生を講師にお招きして体育館で人権集会を行いました。高本先生は教育者として御高名であるだけでなく、特技の落語の腕前はプロ顔負けで色々な所で公演されています。芸名は三代目 愛狂亭 駄楽さん。今回の集会でも全校児童に落語を披露していただきました。本格的な出囃子が体育館に流れ、着物をまとった駄楽さんがステージ中央へ。名作「饅頭怖い」を披露してくださいました。巧みな語り口と豊かな表現力で、1年生から6年生に笑顔があふれます。時には「エ〜ッ」「ウワ〜ッ」と驚きの声。こんな素直な反応ができることも一東小の子どもたちの長所の一つです。子どもたちの反応の良さに後押しされて、駄楽さんの熱演が続きます。そして最後のオチの部分では会場から笑いの後に大きな拍手が送られました。

落語のあとには人権に関するご高話をいただきました。「落語の登場人物のように、人間には表と裏があって、良いところもあれば良くないところもあるんです。良い所をしっかりと認めてもらって、良くないところは少しずつでよいから努力して改善することで人は成長できるよ。そのときに大切なことは他を手伝う気持ちを持つこと。学年に応じた手伝いをしていけばいいからね。例えば、低学年はお友達やご家族。6年生なら地域とかね。」

高本先生の優しい語り口に、大きくうなずく子どもたち。この集会をよいきっかけに全校で人権について考えていくつもりです。高本先生、面白い落語と素敵なお話をありがとうございました。

「ポストさんから」

一東小の南校舎前には70年くらい前につくられた昔の郵便ポストが置かれています。もちろん、現在使用されているわけではありませんが、一東小の子たちをずっと見守ってくれています。そんな郵便ポストを見た（と思われる）一東小の子どもたちの何気ない様子をお伝えしたいと思います。

「ピュン ピュン」運動場にそんな音が響きます。子どもたちが縄跳びに取り組む季節がやってきました。

休み時間に上級生が下級生に優しく教える姿が見られます。「ちょっと見てね、やってみるから。……じゃ、やってみようか。」「そうそう、すごい、すごい。もうすぐできそうだよ。がんばって！」

風は段々と冷たくなってきていますが、何だか温かな気持ちになります。



【校長より】

○先月にもお伝えしましたが、3学期に子どもたちの登校時刻を少し遅めにして子どもたちの安全確保ができないかという試行期間を設けます。現在、早く到着する通学団は8時前に登校していますが、できるだけ8時5分から8時15分の間に登校するよう呼びかけを行いたいと思います。ご家庭の皆様にはご無理を言って申し訳ありませんが、現在よりも若干遅めにお家を出ることになろうかと思います。今年度の試行期間の状況を踏まえ、次年度に向けて検討を行いたいと思いますので、お気づきの点や何か問題等ありましたら、学校までお知らせください。

○12月16日～18日までの3日間に資源回収を行いました、多くの保護者の皆さんや地域の皆さんにご協力いただき、新聞紙やアルミ缶など多くの資源を回収することができました。この収益はより安心安全な学校生活のために還元させていただきます。ご協力ありがとうございました。

○保護者の皆様や地域の皆様のご支援、ご理解のおかげで、2学期を無事に終えることができそうです。本当にありがとうございました。3学期もよろしくお願いいたします。まだまだインフルエンザが流行っているようです。体調を崩さぬようご自愛ください。

2026年も皆様にとって良い1年でありますようご祈念申し上げます。